

SSC
 埼玉県障害者社会参加 推進
 センターだより
 令和6年3月30日 140号

編集
 埼玉県障害者社会参加推進センター
 〒330-8522 さいたま市浦和区大原3-10-1
 県障害者交流センター内
 TEL 048-825-0707
 FAX 048-825-3070

メールアドレス ssk080321@bz03.plala.or.jp
 HPアドレス http://saitama-shokyo.org/info/
 発行行 NPO法人埼玉障害者センター
 〒330-8522 さいたま市浦和区大原3-10-1
 頒価 一部100円(会費に含まれます)
 発行日 10日・20日・30日

令和6年1月30日(火)、
 埼玉県障害者協議会社会
 参加推進センター団体交
 流室令和5年度合同研修
 旅行(日帰り)を行いました。
 新型コロナウイルス感
 染症が5類に引き下げら
 れ、以前の生活が少しず
 つ戻ってきており、4年
 ぶりの研修旅行の開催と
 なりました。
 11団体25名の参加者で
 深谷市の渋沢栄一記念館
 の見学と、ふかや花園プ
 レミアム・アウトレット
 散策をしながら交流を深
 めてきました。



合同研修旅行に参加して
 一般社団法人
 埼玉県聴覚障害者協会
 事務員 藤原 貴美子
 なんと！青空が広がる見事な
 快晴。
 1月だというのに気温も上昇
 し、研修旅行にふさわしい日と
 なりました。
 車いすリフト付き大型バスに
 乗り込み、「おやつ」をいただ
 き、子どももの頃に戻った総勢25
 名が交流センターを出発しまし
 ました。
 わくわく感があふれ、目的地
 に向かって東北道を走り、休憩
 をはさみながら深谷へと向かい
 ました。



〈渋沢栄一アンドロイドと共に〉

渋沢さんの実物大の出迎えに
 驚き(153cm)、資料館へと
 進みました。説明を聞き、保存
 されている資料に見入りました。
 貴重な自筆文書はみごとに筆跡
 のまま時代の流れがわかる資料
 でした。
 いよいよ渋沢栄一氏のアンド
 ロイドと対面し、基調講演「道
 徳経済合一説」を、まるで渋沢
 栄一氏本人の講演を聞いている
 ような錯覚に陥る感覚で聞きま
 した。



「仁則不富、富則不仁」(仁をなせば富まず、富めばすなわち仁ならず) 孔子の教えを敬う
渋沢氏が国の富みを願い500にもおよぶ企業を構築し、日本の経済を発達させる基盤となったことを過去の偉人から学ぶことができました。

渋沢記念館を後にして、いよいよおなかを満たすために第二の目的地へと。



花園アウトレットは平日でもあり、人もまばらで店頭を覗き見るようにしながらフードコートへと入っていききました。

2時間は長いなあと思っ
ていましたが、あつという間に時間は過ぎていき、帰路へとバスに乗り込みました。

各自、お土産?の袋がいっぱいになっていました。久しぶりの遠出で気分も上々で財布の紐もゆるくなっていたようです。

大好きな深谷ねぎを買って満足顔の人、職場で留守番している人へのお土産などを持って、さ
いたま新都心に向けて関越道を走り、渋滞もなく快適なバス旅行を終えることができました。

計画から実施まで、担当者の皆様には感謝を申し上げます。今後このような企画を立てていただけると希望しているのは参加者全員だ
と思います。

ありがとうございます。
ございました。



参加者の声

とても楽しかったです。新しい道が開けそうです。私なりに希望を持って前へ進みたいと思います。あきらめずに外へ出ていきたいと思
います。

自分では行きづらい所に行けよ
かった。

色々な障害をお持ちの方々と交流して出かける機会がなかったのでとても楽しい一時を過ごせました。機会があれば、又、参加したいと思
います。

渋沢栄一さんのアンドロイドに会
えて良かったです。

リフト付きの大型バスを十年前から製造してないということで、多くの車椅子の方々の移動が未だに大変なのだとなりました。トイレの時間等、時間を適切に用意して下さり安心して旅行できました。
いつもは施設の中で生活しているので、施設以外の人と交流できた事が良かったと思います。



渋沢栄一記念館の案内がわかりやす
かった。

天気が最高。周りの山々が美しく
心があらわれた。

リフト付きのバスに初めて乗車して運転手さんの気配りなど様子を
知ることができて良かったです。

- ・ 天気にも恵まれ、時間通りの到着行程に無理がなく良かったです。
- ・ ろう文化の歴史を知る人達と手話で交流できて楽しかったです。
- ・ 顔見知りの方々と旅行が出来たと、そして普段交流の少ない方々と交流出来たこと、貴重な機会を作ってくださりありがとうございます。
- ・ 久しぶりに皆さんに会えてお元気な様子が見られてよかったです。
- ・ 深谷のアウトレット、渋沢栄一記念館も行ってみたい所だったので良かったです。
- ・ とても楽しい研修旅行でした。周りの方々の楽しいお話を聞いていても楽しかったです。色んな障害のある方々の情報も知りたいのでたくさん発信してください。
- ・ 同じ病気の仲間と一緒に旅行して楽しかったです。
- ・ 日程がゆったりしていて和気あいあい、トイレ休憩も多くて良い。
- ・ 一団体での旅行等の企画等は無理なので、合同研修旅行が良いと思います。



渋沢栄一アンドロイドとの集合写真

生活訓練事業

コミュニケーション勉強会

埼玉盲ろう者友の会 学習部副部長

清水 しみず
善裕 よしひろ

障害者交流センターで、今年度も目と耳が不自由な、盲ろう者のコミュニケーション方法である、触手話と指点字の勉強会が6月から毎月第4水曜日に行われました。

触手話は、目の見えない、見えにくい、盲ろう者が、盲ろう者の手を触り、手話を読み取る方法で、指点字は目の見えない、見えにくい盲ろう者の両方の手の指（人指し指・中指・薬指）6本に、通訳者や盲ろう者が手を重ね、点字タイプライターのように、点字を打つ方法です。

勉強会では触手話のグループ、指点字のグループに分かれ、触手話、指点字で自分の名前や出来事などを盲ろう者に伝える練習をしました。

今年度から点字の読み書きを覚えたいという意見もあり、点字の練習も始めました。令和6年度も引き続きコミュニケーション勉強会を行います。

盲ろう者のコミュニケーション方法触手話指点字に、興味のある方は、申し込み不要誰でも参加自由ですので、見学体験してみてください。埼玉盲ろう者友の会学習部一同お待ちしております。



生活訓練補助事業実施報告

公益社団法人埼玉県視覚障害者福祉協会

会長 田口 茂たぐち しげる

生活訓練補助事業として
今年度は、**施設見学、声かけ推進活動、普通救命講習**
を企画実施しました。

声かけ推進活動は、鉄道事業者の協力を得て県内各駅及び県立高校で積極的な声かけを呼びかけるポスターを掲示していただきました。併せて10月6日には、川口駅頭でチラシを配布しました。



チラシ配布には、県鉄道担当職員、川口市職員、川口市社協職員、ボランティアグループ「桑の実」、JR川口駅職員の皆さんの協力のもと400部のチラシを約40分で配布しました。この事業は、今年で6回目となり視覚障害者への声かけを推進するため今後も継続事業としていく予定です。

次に**施設見学**ですが、10月27日に下仁田こんにやくセンター、富岡製糸場を訪れました。

こんにやくセンターは下仁田産のこんにやくを加工した商品が多数揃っていて試食もできました。こんにやくラーメン、こんにやくソフトクリームなど一風変わった商品もあります。私はこんにやくコーヒージェリーをお土産に購入しました。

世界遺産に登録された富岡製糸場は「明治5年に創業し製造中止後も片倉工業が維持したことで今日まで遺産として保存されている」ことなどガイドさんの説明に耳を傾け、その歴史を学びました。



最後に、**普通救命講習会**について報告します。この講習会は、熊谷会場（7月実施）、川越会場（11月実施）、川口会場（1月実施）の3か所で実施しました。地元消防署職員を講師に、意識確認、呼吸確認、胸骨圧迫、AED操作、と一連の救命動作を学習しました。講習後、胸骨圧迫の練習で筋肉痛を覚えた方もいたようです。これからも生活訓練補助事業を活用し会員に有意義な事業を実施していきます。





生活訓練事業

埼玉県障害者社会参加推進事業

社会福祉法人 埼玉県身体障害者福祉協会

松本 まつもと
然恵 のりえ



令和5年12月1日（金）埼玉
県障害者交流センターの調理室
にて4年ぶりに、埼玉協婦人部
会「料理講習会」を開催致しま
した。

この料理講習会は、社会参加
推進事業であり「日常生活にお
ける健康管理等の訓練を行うと
ともに、家庭生活及び社会生活
に必要な知
識の習得や
体験交流等
を行える場
を設けるこ
と」を目的
として、毎
年開催をし
ています。



今回は、株式会社マルエツゆ
ーとぴあから講師をお招きし、

- 「心華やくおもてなし
和食」をテーマに
 - ◎華やかカップ寿司
 - ◎卵豆腐と花麩のすまし汁
 - ◎春菊の白和え
 - ◎口とけなめらか抹茶寒天
- の四品を作りました。



お互いに出ることを協力し
合い、細かく切込みを入れた薄
焼き卵を菊の花に見せたり、薄
く切ったかまぼこをバラの花に
見せたりとかわいく盛り付けを
しました。

久しぶりの開催だったことも
あり、とても楽しい時間となり
ました。

今回のレシピは埼玉協ホーム
ページに記載していますのでご
覧ください。



令和5年度第2回埼玉県社会参加推進協議会並びに

社会参加推進事業実施団体調整会議 開催報告

埼玉県障害者社会参加推進センター 事務局



令和6年2月21日(水)、埼玉県障害者交流センター2階の第1・第2会議室にて、令和5年度第2回埼玉県社会参加推進協議会並びに社会参加推進事業実施団体調整会議が開催されました。

この会議には、社会参加推進事業の各実施団体の他、埼玉県福祉部障害者福祉推進課社会参加推進・芸術文化担当の高橋洋史主査にご出席を頂きました。当事業は埼玉県内の障害者の社会参加を推進するため、埼玉県障害者協議会が埼玉県の委託を受けて、埼玉県障害者社会参加推進センター事業として実施しています。令和5年度事業では、10の実施団体を通じて、講習会や各種体験など、障害者が

日常生活を送るために必要な指導、訓練等を実施しています。当日の会議では、各実施団体より令和5年度社会参加推進事業についての報告が行われました。



全体を総括して、高橋主査からは「コロナ禍中は事業の実施自体が難しかった他に、参加人数が集まらないなど皆さん苦労されていたようですが、今年

度は多くの企画が実施でき、また多くの参加者がいたようで非常に喜ばしく思います。

今年度は特に防災、災害時にどう行動したらいいのかという企画に取り組んでいる団体が多い印象でした。大きな災害が起きた時、能登半島の地震でもそうでしたが、障害のある方ない方も含めて多くの方が大変な避難状況になってしまいました。行政でも福祉避難所の設置等、できるだけ障害のある方のサポートに取り組んでいます。このように各団体が自主的に防災や

特に食、非常食などについて関心をもって取り組んでいただいていることを有難く思います。今後も各団体間で情報交換していただき、来年度以降も新しい

事業等積極的に検討いただければと思います。」とのお言葉をいただきました。田中センター所長は「来年度も引き続き生活訓練事業を実施していく予定ですが、昨今の予算状況など考えながら創意工夫をして事業展開をしていくことになるかと思えます。今日のお話を聞いてみると各団体で非常に精力的に新しい取り組みを実施されているという印象を強く持ちました。多様な切り口で精神・知的・身体・難病等様々な人たちにとってより良い生活訓練事業になるよう、改めてご協力とご支援をお願いできればと思います」とまとめ、会議は終了いたしました。



レクリエーションのつどい「きずなの里会場」を開催して

スポーツ・レクリエーション教室実行委員長 八木田 吉成



2月28日(水)さいたま市西

区宝来の障害者支援施設「きずなの里」2階食堂・談話室において、本年度障害者まつりに続き、2回目の障害者レクリエーション活動等実施事業「レクリエーションのつどい」を開催しました。



ポッチャ



輪投げ

コロナ対策等出張開催すること自体久方ぶり、今回の

「きずなの里」での開催は6年ぶりとなりますが、施設側岡田理事長以下職員20名、入所者35名の方々が、自主的にポスター等も作成し、我々12名を明るく出迎えて頂きました。

楽しく・元気良くをモットー

に「ハンドアーチェリー」「輪投げ」「ポッチャ」の個人種目と「大玉送り」の団体対抗種目及び「お菓子のつかみ取り」等、参加した方々が心から楽しんでるのを身にしみて感じながら実施しました。

最後に玄関まで見送りに来て

頂いた入所者の方が「来・年・も・宜・し・く・い・や・明・日・で・も・い・い・よ」と握手を求められたときは……。



大玉送り

事故もなく無事に終了し、ほんの少しですが皆さんが明るく・楽しく・元気良く、リフレッシュして頂いた事と思われ、次回もまた頑張ろうと決意致しました。



ハンドアーチェリー

NPO 法人埼玉県障害者協議会

～令和 6 年度 (第 44 回) 総会のお知らせ～

日 時：令和 6 年 6 月 8 日(土) 13 時 00 分～16 時 30 分

会 場：埼玉県障害者交流センター ホール



【総会の前に研修会を開催します。どなたでも参加できます。】

テーマ：「最期まで住み続けることのできる地域・住まい」

講 師：水村 容子さん (東洋大学教授 ライフデザイン学部 学部長)

時 間：13 時 30 分～15 時

★ ★ 総会、研修会参加者には感染対策に御協力をお願いします。★ ★

< 賛助会員募集のコーナー >

私たちは、埼玉県障害者協議会の活動を応援しています

視覚障害者にも
楽しい老後を！

もう一度青春 ひとみ園！

社会福祉法人日本失明者協会

養護盲老人ホームひとみ園

〒366-0811 埼玉県深谷市人見1665-3

電 話 048-573-5222

メール hitomien5222@yahoo.co.jp

晃新印刷

〒336-0931 埼玉県さいたま市緑区原山2-23-25

電話 048-887-8006 FAX 048-887-3444

< 賛助会員加入のお願い >

埼玉県障害者協議会の目的に賛同しご協力頂ける、個人及び団体を募集しております。
賛助会員には年 8 回の会報の送付、各種研修会・講演会などのご案内を送付いたします。
賛助会員の会費は、年一口 2,000 円です。入会をご希望の方は、下記の口座へお振り込み下さい。

< 郵便振替 > 【口座番号】 00130-9-673233

【口座名称】 特定非営利活動法人 とくてい ひ えい り か つ どう ほう じん 埼玉県障害者協議会 さいたまけんしやうがいはきやう ぎ かい



編集後記

今年は平穏平和な年にと願った矢先の能登半島地震、被災された方々、関係者の皆様には謹んで哀悼とお見舞いを申し上げます。

昔から「災害は忘れた頃にやってくる」と言い伝えられてきましたが、近年「忘れた頃」が当てはまらない位に災害発生が多く感じられます。

災害弱者といわれる我々も、今一度自己点検をし「災害の少ない埼玉」に甘えることの無いよう本年も頑張りましょう。 <八木田>

